

# やまぐち市議会だより

Yamaguchi City Assembly News

2011年2月1日●発行／山口市議会 〒753-8650 山口市亀山町2番1号 TEL.083-934-2854

## 主な内容

- |                 |    |                  |    |
|-----------------|----|------------------|----|
| ●12月定例会の概要…………… | 2  | ●会派等活動報告……………    | 14 |
| ●11月臨時会の概要…………… | 2  | ●市議会からのお知らせ…………… | 16 |
| ●一般質問・質疑……………   | 6  | ●議会Q & A……………    | 16 |
| ●委員会活動報告……………   | 11 | ●編集後記……………       | 16 |

平成22年  
12月定例会  
〔第18号〕



## おいでませ！山口国体体操競技リハーサル大会

おいでませ！山口国体リハーサル大会として、平成22年12月3日(金)～5日(日)の間、第64回全日本体操競技団体・種目別選手権大会が開催されました。

国体の体操競技は男子がゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目を行い、女子は跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目で行われます。

1チーム4人で、各種目ごとに4人が自由演技を行い、各種目の上位3人の合計得点で順位を決めます。技の難易度や組み合わせ、できばえや芸術点を審判員が採点し得点を算出します。

山口国体体操競技は平成23年9月9日(金)～12日(月)の間、山口市の山口県スポーツ文化センター（維新百年記念公園）で開催されます。

山口市議会も「おいでませ！山口国体」を応援しています。



# 平成23年度予算編成方針や、 新山口駅ターミナルパーク整備など活発な議論

## 一般会計補正予算4億2,202万余円等、81議案可決

### 定例会の概要

## 12月定例会の概要

平成22年第7回山口市議会定例会は12月6日から24日までの19日間の会期で開催されました。



12月定例会本会議

議会初日、まず平成22年第5回臨時会議案である平成21年度山口市一般・特別会計決算審査について同特別委員会委員長が報告、これを認定（4ページ参照）した後、渡辺市長が市政概況報告及び議案説明を行いました。

議案では、人事院勧告に伴う人件費の削減、総務管理費の追加、社会福祉費、生活保護費の追加、保健衛生費の追加、商工費の追加、小・中学校費、幼稚園費、社会教育費の追加等、総額4億2,202万余円を盛り込んだ平成22年度一般会計補正予算をはじめとする予算関係9件、嘉村磯多生家設置及び管理条例の一部を改正する条例を含む条例関係9件、山口市過疎地域自立促進計画を定めることについてや指定管理者の指定等の事件議決59件及び人権擁護委員の候補者の推薦についての諮問2件が上程されました。

### 一般質問に24人が登壇

また、3件の請願を教育民生委員会に付託しました。13日から15日までの3日間で行われた一般質問に

は、24人が登壇しました。各会派からは、平成23年度予算編成方針や、平成22年11月29日にJ R西日本と基本合意の締結に至った新山口駅ターミナルパーク整備構想に関する質問が集中しました。

この他にも行政改革、教育問題、環境行政、国際交流等に関する質問が行われました。

### 全議案を可決

最終日には追加議案を含む市長から提案された議案及び委員会提出議案である「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加への慎重な対応を求める意見書の提出について」の採決を行い、別表（4～5ページ）のとおり審議結果となりました。

なお、議案に対する討論には日本共産党、新国会、公明党、県央創造グループ山口清風会、県央創造グループ山口維新会（発言順）の5会派が参加し、各議案について意見等を述べ、賛否の態度を表明しました。

## 11月臨時会の概要

平成22年第6回山口市議会臨時会が、11月26日の1日を会期に開催されました。冒頭、渡辺市長が市政概況を述べた後、議案説明が行われました。

議案では、新山口駅ターミナルパーク整備事業について、南北自由通路の一部であるエレベーターの整備を平成23年に開催される山口国体及び全国障害者スポーツ大会を見据えて行うもので平成22年度山口市一般会計補正予算として1億600万円の追加が上程されました。

また、条例関係では国の動向を踏まえ、職員の給料及び12月に支給する期末勤労手当の支給月数を引き下げるとの条例改正が上程されました。また、議員等の期末手当についても職員に準じて支給月数を引き下げる条例改正が上程されました。これらの議案に対する質疑が行われ、委員会付託を省略した後、日本共産党が討論を行い、賛否の態度を表明しました。

# 市政概況報告



渡辺市長

## 新山口駅ターミナルパーク整備

関係機関と継続的に協議・調整を重ねてきた新山口駅ターミナルパーク整備については、11月29日、JRR西日本と基本合意を締結した。この基本合意では、本市と当社が円滑な事業の推進に努めていくほか、事業の目的や整備区域、負担区分の考え方、財産の帰属等、事業推進上における基本的な事項について定めており、今後は、これを踏まえ、事業化に向けた手続を進めていくこととしている。具体的には、12月定例会において関連する補正予算を提案しているが、年明けにもJRR西日本と工事委託の

仮協定を締結したいと考えている。

その後、年度内には本格的に事業着手できるような諸手続を進めていきたいと考えている。

## 国際交流事業

昨年10月17日から23日にかけて、私を団長とする公式訪問団がスペインパンプローナ市を訪問し、パンプローナ市との姉妹都市締結30周年を祝した。

パンプローナ市へは、公式訪問団のほか、公募による15人の市民訪問団と共に総勢21人が訪問し、ヨランダ・バルシナ市長による歓迎レセプションやパンプローナ市内にある山口公園での記念植樹を行った。

このほか、特にパンプローナ市内の小学校で行われた交流事業では、市民訪問



パンプローナ市にて

団からはエブロンシアターが披露され、また、児童の皆さんからも紙芝居や歌の披露をしていただき、大変和やかな交流が行われた。

このように、市民が主体となり、心の通い合う交流事業を行うことで、両市の友好関係が今後も未永く続くことを改めて確認した。

さらに、今回の訪問の機会を生かし、経田地であるマドリッド市内にあるメディアアート施設を2館視察し、山口情報芸術センターのPRを行うとともに、公共性の高いアートセンター同士の新しい交流のきっかけづくりを行った。

本市としては、今後とも、姉妹・友好都市との交流を進め、各種・各層における交流に取り組んでいきたい。

## 嘉村磯多生家活用事業

仁保上郷出身の私小説家嘉村磯多の生家について、平成20年に嘉村家御親族から寄贈を受け、改修工事を進めていたが、この度、嘉村磯多の顕彰とともに、田舎暮らしが宿泊体験できる施設「帰郷庵」として、平成22年11月27日にオープンをした。

整備では、築後130年を経た茅葺屋根の古民家を可能な限り保存することとし、柱や梁、欄間などは、当時の物をそのまま使用し、また、古民家の雰囲気をより身近に感じていただくため、囲炉裏やかまど、五右衛門風呂なども設置した。本市としては、多くの皆



嘉村磯多生家（帰郷庵）

様にこの施設を御利用いただき、私小説家嘉村磯多の生家という文化的価値そのものを感じていただくとともに、都市と農村の交流による地域活性化の起爆剤となるよう、地域の皆様と協働で活用に取り組んでいきたいと考えている。

## その他の報告

このほか、企業立地、山口市高病原性鳥インフルエンザ対策連絡会議の設置についての報告がありました。

## 平成22年第6回（11月）臨時会 議案の審議結果

付託先略称 総：総務委員会 教：教育民生委員会  
環：環境上下水道委員会 経：経済建設委員会  
一：委員会付託を省略し本会議で決

議案番号	付託先	○賛成 ×反対										議決結果			
		※議長は除く													
		山県維新会(8)	新政会(6)	山口清風会(6)	山県創生会(4)	公明党(4)	山県クラブ(3)	日本共産党(2)	市民クラブ(2)	民政クラブ(2)					
1	平成22年度山口市一般会計補正予算（第4号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	山口市議会の議員報酬及び非常勤の職員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	山口市特別職等の給与に関する条例の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	山口市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号	平成22年第7回(12月)定例会 議案の審議結果 付託先略称 総：総務委員会 教：教育民生委員会 環：環境上下水道委員会 経：経済建設委員会 決：一般・特別会計決算審査特別委員会 一：委員会付託を省略し本会議で表決	付託先	○賛成 ×反対								議決結果		
			会派等名(人数) ※議長は除く										
			山口維新会(8)	新政会(6)	山口清風会(6)	公明党(4)	山来クラブ(3)	日本共産党(2)	市民クラブ(2)	民政クラブ(2)			
決算認定	1	平成21年度山口市一般会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
	2	平成21年度山口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
	3	平成21年度山口市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
	4	平成21年度山口市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	5	平成21年度山口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
	6	平成21年度山口市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	7	平成21年度山口市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	8	平成21年度山口市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	9	平成21年度山口市小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	10	平成21年度山口市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	11	平成21年度山口市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	12	平成21年度山口市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	13	平成21年度山口市国民宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
	14	平成21年度山口市特別林野特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	15	平成21年度山口市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
12月例会	1	平成22年度山口市一般会計補正予算(第5号)	総教環経	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	2	平成22年度山口市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	教	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	3	平成22年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	教	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	4	平成22年度山口市介護保険特別会計補正予算(第2号)	教	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	5	平成22年度山口市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	6	平成22年度山口市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	環	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	7	平成22年度山口市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	経	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	8	平成22年度山口市特別林野特別会計補正予算(第1号)	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	9	平成22年度山口市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	10	嘉村儀多生家設置及び管理条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	11	山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	12	山口市地域交流ステーション設置及び管理条例の一部を改正する条例	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	13	山口市島地温泉ふれあいセンター設置及び管理条例	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	14	山口市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	15	山口市営住宅条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	16	山口市水道事業給水条例の一部を改正する条例	環	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	17	山口市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	18	山口市火災予防条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	19	山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更に関する協議について	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20	山口市過疎地域自立促進計画を定めることについて	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	21	字の区域の変更について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	22	字の区域の変更について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	23	字の区域の変更について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	24	字の区域の変更について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	25	字の区域の変更及び町の区域の新設について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	26	字の区域の変更及び町の区域の新設について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	27	市道路線の廃止について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	28	市道路線の認定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	29	山口情報芸術センターの指定管理者の指定について	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	30	中原中也記念館の指定管理者の指定について	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	31	山口市スポーツの森の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	32	やまぐちサッカー交流広場の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	33	やまびこ学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	34	すずみ学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	うえき学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	36	みなみ学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	しょうだ学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号	平成22年第7回(12月)定例会 議案の審議結果 付託先略称 総:総務委員会 教:教育民生委員会 環:環境上下水道委員会 経:経済建設委員会 決:一般・特別会計決算審査特別委員会 一:委員会付託を省略し本会議で表決	付託先	○賛成 ×反対								議決結果	
			会派等名(人数) ※議長は除く									
			山口維新会(8)	新政会(6)	山口清風会(6)	公明党(4)	出未会(3)	日本共産党(2)	市民クラブ(2)	民政クラブ(2)		
38	ひめやま学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	さわやか学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	もみじ学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	もみじ第2学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	なかよし学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	わくわく学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	くすのき学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	たんぼぼ学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	はちのこ第2学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	山口市秋穂コミュニティセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	山口市小鯖高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	山口市大内高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	山口市宮野高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	山口市吉敷高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	山口市平川高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	山口市陶高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	山口市鏝司高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	山口市名田島高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	山口市秋穂二島高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	山口市嘉川高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
58	山口市佐山高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	山口市小郡高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	山口市小郡高齢者生きがいセンターさるびあ館の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
61	山口市串地区老人作業所の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	山口市アカシア工場の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
63	山口市山口障害者福祉作業所の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
64	山口市阿知須健康福祉センターの指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
65	山口勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
66	国民宿舎秋穂荘の指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
67	重源の郷体験交流公園の指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
68	願成就温泉センターの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69	十種ヶ峰ウッドパークの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
70	山口市徳地高齢者・若者活性化センターの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
71	山口市徳地新規就農者技術習得支援施設の指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
72	山口市徳地三谷交流センターの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
73	山口市地域特産物販売促進センターの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
74	道の駅あいおの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
75	山口森林ふれあいセンターの指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
76	山口東港海岸高潮対策工事の請負契約の一部を変更することについて	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
77	教育委員会の委員の任命について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
78	平成22年度山口市一般会計補正予算(第6号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
諮問												
1	人権擁護委員の候補者の推薦について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
2	人権擁護委員の候補者の推薦について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
請願												
1	後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願	教	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
2	最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める請願	教	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
3	無年金・低年金者に生活支援金の支給に関する意見書の提出を求める請願	教	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
委員会提出議案												
1	環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加への慎重な対応を求める意見書の提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

# 一般質問・質疑

一般質問・質疑は、議案及び市政全般について市長など執行機関の考え、方針を問いただすものです。時間は質問、答弁あわせて議員一人あたり60分で、12月定例会では24人の議員が登壇しました。各議員の質問と市長をはじめとする執行部の答弁の要旨は次のとおりです。(掲載順序は登壇順です。)

## 平成23年度予算編成方針について

県選挙対策協議会

藤本 義弘

### 山口・小郡両都市核の具体的な取り組み

**問** 新山口駅ターミナルパーク整備事業、中心商店街活性化事業、そして湯田温泉地区の整備など渡辺市長はどの様な姿勢で来年度予算に取り組みられるのか伺う。

**答** 両都市核の整備は就任以来、特に力を注いできた事業で新年度以降も関係機関と連携を図る中でさらにスピード感を持って取り組んで行く。小郡都市核における新山口駅ターミナルパーク整備はJRとの基本合意に基づき着実に推進していきたい。山口都市核についてはこれまでの取り組みのフォローアップと共に商店街の主体的な新たな取り組みを促すなど賑わいの創出を図ると共に、法定再開発への支援を行う。湯田温泉については国体開催時にお客様を温かくお迎え出来る様に駅前の整備、道路の美化など、公共空間の整備と温泉地としての魅力や賑わいを創出してきたい。

## 山口市過疎地域自立促進計画について

新改会

伊藤 青波

**問** 過疎地域の方はこの過疎法に大いに期待しているが、基本方針をお伺いする。

**答** 過疎地域の有する豊かな自然や再生可能なクリーンエネルギー、安心・安全な食料や地域固有の歴史や文化といった地域資源の活用により、過疎地域の有する公益的機能を十分に発揮することで、活力に満ちた地域社会の実現を図ることを念頭に置いている。特に、本市の取り組み姿勢として、緑の分権改革や定住自立圏構想の推進などを過疎対策においても意識して進めていくとともに、重層的集約型都市の取り組み、すなわち都市部との交流連携の視点を盛り込むことにより、過疎地域の自立促進を目指すものとしている。

基本方針としては、地域住民とのきずなづくり、暮らしの潤い確保、都市部との交流、経済循環の仕組みづくりという四つの柱を掲げている。

## 山口版グリーン・ニューディールについて

県選挙対策協議会

兼村 幹男

**問** 本事業の推進については、地域経済の活性化とともに、雇用の創出を図る上で、本市の重要な政策になると考える。民間事業者と連携するなかで、長期的視点をもって取り組みを進めることが重要だと考えるが、どのような思いをもって事業展開をされているのかを問う。

**答** 本市の地域経済の課題解決に向けた戦略的かつ重点的に推進すべきプロジェクトと位置づけており、このプロジェクト推進により、環境と自然を大切にすると、この都市イメージを形成し、本市の自然や地域資源に具体的な経済価値を持たせることで、地域内の富の循環や域外との交流促進を図り、山口に潤いと活力を持たせていきたいと考えている。

**その他の質問**

- 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加について
- 鳥獣被害対策について

## 交流人口の増加策について

公明党

其原 義信

**問** 中心市街地の活性化、湯田温泉地区の整備について、本市として交流人口の増加策・ソフト事業への取り組みについて伺う。

**答** あらゆる広報媒体を使ったPR活動も積極的に行い、中心市街地にぎわいの創出を図っていく。ツイッターの活用についても検討してまいりたい。湯田温泉への誘客については、官民一体でおもてなし空間を形成し、観光客の誘客促進と地域活性化に向けた取り組みを推進する。

**協働のまちづくりについて**

**問** 地域づくり交付金の予算配分について、十二分に御配慮を願いたい。

**答** 交付金の配分のあり方など、より柔軟な運用ができるよう検討しており、使い勝手のよい制度となるよう、財源確保にも努める。

**その他の質問**

- 中山間地域対策について
- ・ 地域交通
- ・ 阿東地域における地域医療

## 地域経済の活性化に ついで

山口県クラフ 入江 幸江

### 住宅リフォーム助成制度

**問** 地域産業全体の活性化に即効力を持ち、地域循環型の経済効果として大きく効力を発揮する「住宅リフォーム助成制度」を取り入れるお考えがあるか伺う。

**答** 阿東町との合併後、広大な森林面積を有したことから森林資源の有効活用による内需拡大や地産地消の促進といった地域経済振興策は早急に対応すべき政策課題と位置づけている。

現在制度導入により地域経済が循環する仕組みづくりに関して具体的な検討を進めている。

経済産業部としても優先度の高い事業を見つけ、積極的に取り組んでまいりたいと考えている。

### その他の質問

○「日本一本を読むまち」に向けた環境づくりについて

・蔵書の充実と読書環境



## 地域主権改革の見通し についで

日本共産党 菊地 隆次

### 管内閣が決めた「地域主権戦略大綱」は、第一に福祉などの最低基準を定めた義務づけ、枠づけの廃止、そして地方向け補助金の一括交付金化、さらに、国の出先機関の原則禁止が盛り込まれ、道州制も射程に入れると記入されているが、こうした国の方針を基調にした予算編成だが、市財政、市民生活は大丈夫か。

**答** このような懸念が感じられる場合には、国に對し市長会などを通じて強く要望していく。

### ターミナルパーク整備

**問** この事業の最大の事業効果は、30万人中核都市のエンジン役だが、交流人口や定住人口が増えるのか厳しい面がある中で、基本合意について市民合意が得られるか。

**答** パブリックコメントや市報等を通じ広く情報提供を行ってきたところであり、多くの市民に御理解をいただいているものと認識している。

## 林業の取り組みについて

市民クラフ 須子藤吉朗

### 市の財産である市有林について伐期の来た材について的確な対策、特に椎茸の原木のナラ木等については、大きくなり過ぎると材としての価値がなくなる。また、市有林については山奥にあり、色々な役目を持つ保安林の指定してある山林についても、皆伐は無理でも大木になった木については、間伐等適正な処理をしないと集中豪雨等で倒木し二次災害を起こす原因にもなると思う。山の管理についてどの様にお考えか。

**答** 木材価格の低迷、森林病害虫による被害等、さまざまな原因から森林の荒廃が進んでいる状況が見受けられ、しかも奥のほうは保安林というところはかなり大きな木がある。こうした森林への対応は喫緊の課題であると認識している。市有林の現況の調査報告をまず行う必要があり、早急に対応し、その上で適正な措置を行いたい。

## 秋穂地域交流センターの現状について

民設クラフ 上田 好寿

### 図書館を含む複合施設が建設された秋穂地域交流センターの機能面にいくつかの問題点がある。水滴が落ちる、調理機の設置が悪い、事務室が生涯学習施設としてふさわしくない、玄関のドアが重い、日直の廃止などである。利用者の不平等が出てきているがどうか。

**答** センターの整備に一定の制限もあったが、今後はより使いやすいセンターとなるよう工夫改善していく。

### 教育の推進

**問** 学校教育の推進について、教師は児童生徒にわからせるよう指導法を工夫して教育活動を進めているし、部活や雑務にも追われている。その上、校長も教員も報告物が多く、ノーマイカーデーもあって心痛している。また卒業期や教員の異動期を迎えるが、市教委の考えを伺う。

**答** 教職員の負担過重にならないように進める。異動は、学校の実態を十分考慮して進める。

## 地域活性化策について

県民協賛クラフ 出雲聖 氏永 東光

### 地域産業、生命産業と言われる、農林水産業の関係者、農業協同組合、森林組合、漁業組合が三位一体となって、第一次産業連携組織として山口市農林水産業振興協議会が発足した。早急に市として支援体制が必要ではないか。

**答** 農林水産業に携わる方々が一体となった取り組みが強く求められるところだ。今後の活動に期待する。この協議会に対する支援は経済産業部が窓口となり、いろいろな形で支援する。

**問** 自転車による事故が多い。自転車活用の交通ネットワークを構築した、まちづくり計画を進めることが必要と思うが所見を問う。

**答** 県庁所在地の中でガソリン消費量が全国一と、マイカー依存が強いところから公共交通機関と連携させた取り組みが必要だ。検討を進めていく。

### その他の質問

・温泉活用研究組織設立  
○広域連合

## 防犯灯の広域設置について

市民クラブ 小田村克彦

**問** 市では各町内会単位からの申請に基づき防犯灯の設置費用の一部や修繕費、電気料金などを補助し、交通事故や犯罪被害を未然に防止することを目的に進めているが、その町内会の利用実態以外の利用もあり、ニーズを反映した広域的な新設や地域をまたいだ設置などできないか。また、低炭素社会の実現や自治会の負担経費軽減の観点からLED照明などの検討は。

**答** 補助対象団体は単位自治会だけでなく要綱上は広域的な設置・維持管理が可能。自治会の範囲を超える地域に居住される方の通勤通学やウォーキングなどのニーズに答えきれていない。制度の積極的周知や広域的な視点でのニーズを的確に捉えたい。LEDは電気料や維持管理経費の負担軽減につながるから検討中。

### その他の質問

- 地球温暖化対策
- 新エネルギー導入への取り組み

## 災害の起りにくい山づくりに関して

新代会 斉藤 巨

**問** 災害が起りそうなの花崗岩が風化していると思われる市有林が、小郡から仁保にかけて1700haあった。現状の把握と今後の対策を伺う。

**答** 山地崩落箇所は、ほとんど風化花崗岩であった。現在市内の山腹崩壊危険地区172カ所、崩壊土砂流出危険地区は569カ所。今年度は24カ所に堰堤設置・間伐下草刈り事業実施、大内長野地区の荒廃森林3haは改植を実施中。今後も計画的な対応に努めたい。

**問** 森林施業プランナー育成支援事業の進捗状況は。

**答** 森林施業プランナー研修会に2名参加予定。基幹林業技術者養成研修は6名受講中。森林の多面的機能を理解し山に精通した人材育成にも取り組む予定。

### その他の質問

- 前田川の護岸について
- ・現状と市としての対応
- 中山間地域の活性化
- ・空き家対策と地主意識
- 木戸山トンネルについて

## 水道料金改定

新代会 石田 芳雄

**問** 山口市水道事業給水条例の一部改正が上程された。それによると合併後、現在まで旧市町で水道料金体系に差異があったものを平成23年10月1日以降の検針分から新水道料金として適用するものであり、1カ月25立米使用の場合、山口・秋穂地域は変わらず、小郡地域は960円の値上げを検討している。今回の改定案は、小郡地域については大幅な値上げとなっており、地域住民にとっては、大きな経済的な負担となる。「サービスは高く負担は低く」という合併時の約束は、2年前の下水道の値上げと同様にまた反故にされるか。

**答** 合併から5年が経過した、水道使用者間の負担の公平と一体感の醸成の観点から料金を統一する時期が到来していると考えている。

### その他の質問

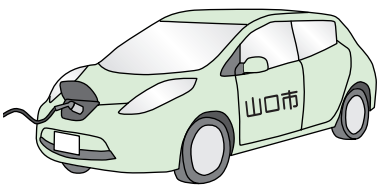
- 新山口ターミナルパーク整備事業
- 水道未普及地域での飲用水等の確保

## クリーンエネルギー車の導入について

新代会 伊藤 斉

**問** 他市では民間への波及効果もねらった電気自動車の導入を積極的に図られている。特に今年度は、電気自動車導入元年とも呼ばれている中、本市はどのように考えているのか伺う。

**答** 今年は、国や自治体において、低炭素社会の実現に向け二酸化炭素を排出しない電気自動車導入が進んでいる。こうした中、本市においては、環境への負荷の低減を図り、走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車を平成22年度末までに公用車として1台導入する予定としている。今後も市民、事業者への波及効果を考え取り組んでいく。



電気自動車

## ジェネリック医薬品利用促進について

県議会 泉 裕樹

**問** 年々増えていく医療費に対して受診を抑制することはできないが、工夫をすることはできる。国は、医療制度改革の一環として先発薬品と比べ平均して5割程度の額であるジェネリック医薬品、いわゆる後発薬品の利用促進を掲げている。他市では被保険者に対して、ジェネリック医薬品を服用するとどれくらい節約できるかを通知する「ジェネリック医薬品通知サービス」を実施し、効果を挙げている。山口市で実施する考えはあるか。

また、ジェネリック医薬品希望カードを被保険者に配布する考えはあるか。

**答** 県では、市町国民健康保険広域化計画等支援方針が策定され、広域化を推進するための施策の一つとして同通知を共同導入し、平成23年度中に発送できるように準備が進んでいる。

本市も、共同導入に向け準備をし、希望カードの配布も併せて実施したい。



## 小郡都市核づくりの具現化

民政クラブ 澤田 正之

**問** JR西日本との基本合意を踏まえ、新山口駅ターミナルパーク整備事業をどう進めるのか。また、駅北地区重点エリアでの産業交流機能の核施設内容の具体化にどう取り組むのか。

**答** 既にバリアフリー対策に着手したが、本格的には来年3月にJRと工事委託協定を締結し、来年度所要の予算を計上して28年度の整備完了を目指す。また、産業交流機能の核施設についても、旧小郡町のデザイン会議での検討や業界団体等の意向も踏まえ、年度内に結果を取りまとめる。

### いじめの根絶

**問** 人権をないがしろにする意識構造を払拭するためには、幼少期のいじめへの指導と対応が重要であるが、どう取り組むのか。

**答** 様々な機会を捉え、いじめの撲滅に取り組む。

### その他の質問

- グリーン・ニューディール
- 社会基盤整備の促進
- 鳥インフルエンザ対策

## 平成23年度予算編成について

公明党 佐田 誠一

### 生活保護扶助費

**問** 厳しい経済状況と高齢者世帯の増加中、生活保護費に関する予算を維持していくことは行政の責任である。生活弱者支援という政治の基本を担保する意味で平成23年度予算編成における生活保護扶助費についてお考えを伺う。

**答** 近年の景気の低迷や少子化・高齢化により扶助費が増加傾向にあり、本議会でも生活保護費の増額補正をお願いした。経済状況や雇用状況が依然として改善が進んでいない中、来年度予算編成における生活保護扶助費は、これまでの傾向や実績を十分に分析し必要枠を計上したい。

### その他の質問

- ・合併後5年の総括
- ターミナルパーク整備
- 上下水道事業
- ・下水道事業団一括委託
- ・料金徴収業務委託
- ・施設管理業務委託
- ・経営健全化への展望
- ・大学や企業の知的資源

## 住宅リフォーム助成制度について

日本共産党 河合 喜代

**問** 7年前から住宅リフォーム助成制度を経済効果があり、やるべきと取りあげてきた。2001年から5年間で県内の建設業の従業員数は1万1千人も減っている。市長の決断です。チャレンジを求めます。

**答** 住宅リフォーム助成制度は今、実施の方向へ向けて積極的に来年度予算編成の中で検討している。

### 新山口駅ターミナルパーク整備事業について

**問** 1番・0番線を計画から外して30億円削減できた。橋上駅舎の135億円の方の30億円かと。そうすると橋上駅舎は105億円かかるはずが今回の説明では自由通路と橋上駅舎で百億円と。詳しく説明を。

**答** 本当の概算の数字だった。

**問** JR委託施工費が百億円、市直営が20から30億円。JRに地元発注を要請しているが回答はどうか。

**答** 確かにそうしましょうという形の返事はない。

## 障害者福祉サービスについて

県創生ルネサンス部 坂井 芳浩

**問** 移動支援事業は、本市では今年度から非課税世帯の利用者負担の無料化等により、昨年度に比し利用者44%増と、障害者の社会参加機会が拡充され、朗報と言えるが、今後の更なる取り組みについて伺う。

**答** 事業者への積極的な支援体制と参入事業者増に向けた体制整備により、使いやすいサービスを目指す。

**問** このたびの成人式会場において、知的・精神障害者等に対して、いかなる合理的配慮がなされるのか。

**答** 控室や専用駐車場、式典における優先席を準備するほか、障害の内容や程度に応じ、できる限り個別対応に取り組んでいく。

### その他の質問

- ・知的障害者区分判定の平準化
- ・福祉相談窓口の継続及び充実
- 山口市消防団の再編について
- ・消防団の位置づけ
- ・訓練の実践性

## 国体開催におけるおもてなしについて

県創生ルネサンス部 宮川 英之

**問** いよいよ平成23年10月、山口国体及び山口大会(全国障害者スポーツ大会)が開催される。来場者に対する市民の「おもてなし力」向上のため、どのような施策展開をお考えか。

**答** 小学生による国体見学のほか、大会直前の夏ごろには市民の皆様が多く参加できる総決起集会を開催し、機運、一体感の醸成を図っていく。市民一人一人が主役となって日本一のおもてなしでお迎えする。

**問** 開催が一過性の盛り上がりで終わらず、山口市の魅力を発信し、リピート率向上等につなげていくべきと考えるがいかがか。

**答** 主要な駅を七夕ちようちんで装飾したり、魅力的な食や特産物を提供し、山口の郷土芸能やお祭りのステージを御覧いただきながら国体関係者と市民が交流できる場を設けていきたい。オール山口の体制で取り組んでいきたい。

## 教育問題について

県議会議員 山田 繁

原田

清

**問** 最近、いじめや生徒の自殺が各地で起きています。自殺に追い込むまでに問題を早く見つけ、問題解決に努めることが大切だ。私は市教委の中にある教育相談室が大きく役立つと思うが、相談室の体制、相談内容、相談室を利用する手順を問う。

**答** 2名の相談員が業務に当たっている。不登校やいじめ、学校生活、家庭生活などさまざまである。今年度一番多かったのが不登校で55・6%を占めている。過去3年間の相談件数は、平成19年度1110件、20年度1239件、21年度1126件。今年度は11月末現在で770件を超えている。相談の方法は電話やメールのほかに来室もある。年度当初に児童生徒を通じて相談窓口の一覧を配布したりホームページで紹介、今後にも充実した運営に努める。

**その他の質問**

○環境行政について

○交通対策について

## 教育行政について

公明党

村上

満典

**予算執行と環境整備**

**問** 需用費、委託料、備品購入費などに含まれる修繕費について、予算執行状況と環境整備の方針を問う。

**答** 良好な学校環境を維持継続していくため、毎年度予算の範囲内において適正な執行を行っている。予算を使い切った場合、予算の流用なり、補正なりを組んで対応していきたい。

**施設利用**

**問** 山口市内で国体の影響によりクラブ活動等への支障が懸念されることはないか。その実態についてどのように把握され、どのように対処されるのか。

**答** 国体関連競技の練習会場として使用される予定の中学校は、鴻南中、宮野中、大内中、小郡中の4校である。

長い期間にわたって中学校の施設を使用する場合には、代替施設を検討するなど、生徒への影響が最小限になるよう調整していく。

## 都市景観賞の創設について

県議会議員 山田 繁

浅原

利夫

**問** 市として山口市景観条例に基づき、すぐれた都市景観の創造と保全に努めてこられた。私はこの際、市民意識の高揚を図るために都市景観賞を設けてはいかがかと思う。

**答** 現在、県内の他の市町では都市景観賞を創設し、住民の景観に対する意識の向上を図られている自治体もあるが、本市において、これまで実施した例はないものの、都市景観賞などを通じて市民の皆様が景観に対する意識をより一層高めることは、さらなる高揚の促進や一体感の醸成につながるものと考えている。

都市景観賞や市民活動検証についても、基本方針の策定の中で検討をしていく。

**その他の質問**

○循環型社会に向けたごみ等の減量化対策について

- ・ 生ごみ・尿・浄化槽汚泥の分別資源化
- ・ 生ごみ処理機の普及啓発

○地籍調査の推進について

## 中山間地域づくりについて

県議会議員 山田 繁

田中

勇

**問** 今回の串地区のように天神の滝という観光スポットにウォークラリー、地産地消にシルバークラウドや若い力、婦人会、語り部などのコラボレーションは中山間地域の活性化に大いにパワーを与えてくれると考えられる。中山間地域の活性化を進める上でのような対策を進めるのか。



天神の滝

**答** 中山間地域の活性化については、協働のまちづくりによる地域内分権の実現と、全庁的な取り組みで進める中山間地域の振興との両輪をもって進め、地域と行政の協働によるこうした成功の積み重ねが地域を支え、同時に、本市のまちの価値を高める魅力的な地域資源を育てると考える。

## 行財政改革について

山口未来クラブ

重見

秀和

**問** この度、山口市行財政改革大綱の改訂版の案が出された。今回の改訂により行政サービスの質の向上に向けた取り組みを行う質の改革と、行政コストの削減や収入増に向けた取り組みを行う量の改革という二つの視点が出されたことは評価している。また財政面で見るとこの5年間の取り組みで基金の取り崩しに頼らない財政運営を基盤にのせる事ができたのは大きな成果だと思っている。これまでの評価と、今後の課題をお尋ねする。

**答** 平成17年を起点とした累積財政効果額は約65億円の効果を発揮し、この財源を活用しながら福祉や教育をはじめとした新市のまちづくりを展開している。合併による財政支援措置も平成32年度に終了することから本市の財政は中長期的には厳しいものがあり、これを克服するための土台作りをスタートさせる必要があると認識している。

# 委員会活動報告

## 総務委員会

原田 清 (委員長)  
 田中 勇 (副委員長)  
 小林 訓二・伊藤 青波  
 藏成 幹也・村上 満典  
 山本 功・菊地 隆次  
 小田村克彦

## 小学生による競技見学

「おいでませー！山口国体・山口大会」について、委員から、小・中学生による競技の応援や見学は貴重な体験、思い出になる。競技見学の計画はあるのかとの質問がありました。

執行部からは、選手の皆様を直接会場で応援することは最大のおもてなしであると考えている。小学生の競技見学は、5・6年生を対象に考えており、参加した児童が感動と記憶を共有し、市内全小学校で取り組み、新市の一体感を醸成してほしい。そして子供たちも会場から選手に声援を送り、山口の元氣と歓迎の気持ちを伝えるということを取り組みたい。見学する競技は、雨でも観戦できる、

大きい声で応援しても支障がない、学校のカリキュラムに対応できることなどを考慮して、水球、軟式野球、陸上競技、ホッケーを考えている。また、中学生は各競技の補助員としての参加を考えているとの答弁がありました。

本委員会に付託された7件の議案については、議案第1号は賛成多数で、その他の議案については、全会一致で可決しました。

## 行政視察報告

11月9日から11日までの3日間、京都府京都市、新潟県上越市、東京都八王子市を視察しました。

京都市では、児童の減少により廃校となった小学校を利活用し、文化施設として整備された京都国際マンガミュージアムを視察しました。年間30万人を超える入館者があり、行政、大学や関連団体が計画を策定し、共同事業を実施するなど、積極的に民間活力の導入が

図られていました。また、地域住民の理解と協力が事業推進に寄与していました。



京都国際マンガミュージアムの視察風景

上越市では、定住支援施策の取り組みの参考とするため、ふるさと暮らし支援センターについて調査しました。都市部の団塊の世代を中心とした田舎暮らし志向の高まりを受けて実施している事業で、空き家の利活用については、受け入れ側の地域住民が一体となった受け入れ態勢を整えることが大切で、また、行政側から地域住民に対して、事業への理解を深めてもらうための十分な説明が必要と考えます。

八王子市では、モニタリング制度を導入している指定管理者制度について調査をしました。利用者に施設の満足度アンケートを実施

しており、利用者から直接意見を取り入れることの重要性を指定管理者に意識させ、この制度の目的の一つである市民サービスの質の向上をより効果的に実現していると感じました。

## 教育民生委員会

入江 幸江 (委員長)  
 依田 祐児 (副委員長)  
 坂井 芳浩・有田 敦  
 泉 裕樹・原 ひろ子  
 河合 喜代・上田 好寿

## 公立保育園の民営化

委員から、保育園の民営化において、移行にかける期間や、委託先の選定方法について質問がありました。執行部からは、山口市公立保育園民営化基本方針でも示しているが、保護者の理解を重視する観点から移行期間には最低でも2年間かけ、移行期間の前後半年間で引き継ぎを進めていきたい。委託先の選定においても、保護者が選定委員会へ入ることも必要だと考えていると答弁がありました。

なお、教育民生委員会に付託された49件の議案については、議案第1号から第4号までについては賛成多

数で、その他の議案については全会一致で可決しました。また、請願受理番号1から請願受理番号3までについては、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

## 行政視察報告

11月9日から11日までの3日間、石川県金沢市、千葉県松戸市、神奈川県横浜

市を視察しました。金沢市では、地域団体や市民団体からなる市民会議が、「協働をすすめるルールブック」を作成しています。市民目線で作成されたルールブックは、イラストや平易な言葉で解説され、だれもが理解できるように工夫されていることから、今後本市が協働について市民への理解を広めていく上で参考になると感じました。松戸市では、保育園の民営化を進めるにあたり、保護者との対話を重視するため、まずは委託として運営を任せ、十分な理解が得られてから移管するという2段階での移行を採用しています。また、保育士の人事交流により児童の心理的負

担の軽減に努めています。  
 さらに、委託先の選定は、保護者が選ぶプロポーザル方式を採用するなど、保育の質の向上と児童の安全・安心に力点を置く姿勢は、本市が保育園の民営化を進める上でも大変参考になると感じました。



横浜市での視察

横浜市では、いじめや不登校など学校の問題について徹底的に原因分析を行い、組織的対応を支援するため小学校に児童指導専任教諭を配置しています。具体的には、その学校に配属されて数年経った優秀な教諭を児童指導専任教諭に任命し、その役割を担う教諭の授業時間を通常の半分以下とし、残りの授業時間を補うため非常勤講師を配置しています。これにより担任教諭だけの抱え込みを防ぐと

ともに、初期段階からの細やかな対応が可能となっています。このような児童や学校運営を支援する体制は、本市においても非常に参考になると感じました。

**環境上下水道委員会**

- |             |       |
|-------------|-------|
| 原田 欣知 (委員長) | 野村 幹男 |
| 原 真也 (副委員長) | 伊藤 齊  |
| 浅原 利夫       | 伊藤 誠二 |
| 藤本 義弘       | 佐田 悟  |
| 平田 悟        |       |

**山口市水道事業給水条例の一部を改正する条例**

議案第16号「山口市水道事業給水条例の一部を改正する条例」は、現在合併前の旧事業体ごとになっている水道料金について、全給水区域を通じて同一料金にするもので、今後の老朽施設の更新、適切な施設の維持を行うための財源を確保するため、結果的に現在の山口地域及び秋穂地域の料金を、経過措置を踏まえ平成23年10月1日以降の検針分から全給水区域に適用するための条例改正であるとの説明がありました。委員からは改修が必要な老朽施設についての質疑とともに、値上げとなる地域への十分

な周知や水道事業健全化に向けた取り組みをすすめていくよう意見がありました。なお、本委員会に付託された4件の議案は、すべて全会一致で可決しました。

**行政視察報告**

11月16日から18日までの3日間、富山県富山市、長野県長野市、大阪府池田市を視察しました。

富山市では、環境モデル都市として、市民、企業、行政が一体となった富山型低炭素都市の実現に向けた取り組みを調査しました。特に、市民、企業等が独自の目標をたて、チームを結成し地球温暖化防止行動に取り組み「チーム富山市」推進事業は、315チーム、約1万9千人の登録があり、市民や企業の意識を高める上で非常に意義深い事業で、市民、企業等の特徴を活かし、主体的な取り組みを促していける点で、本市でも参考になるものと考えます。

長野市では、下水道事業として、市設置型の合併処理浄化槽事業と下水道使用料の一元化を調査しました。市設置型の合併処理浄化

槽事業は、主に公共用水域の水質保全のために、また、下水道使用料の一元化は、下水処理に係る費用負担の公平性の確保のために取り組まれているものであり、地域が広く、多様な種類の下水対策を進めている本市においても参考になるものと考えます。

一方で、一般財源の負担も大きいことから、費用対効果についての十分な検証が必要であると考えます。池田市では、ESCO (Energy Service Company) 事業の取り組みと「エコミュージアムの概要として、池田・府市合同庁舎と池田市立3R推進センターを調査しました。

ESCO事業は、初期費用なしで民間活力を活用した施設の省エネ改修が可能



池田市でのESCO事業の視察

になることから、本市においても参考になるものと考えます。しかしながら、ESCO事業としての採算性等の観点から、本市における対象施設は限定され、導入にあたっては、施設間の連携等の工夫が必要であると考えます。

**経済建設委員会**

- |           |        |
|-----------|--------|
| 東光 (委員長)  | 巨 義信   |
| 東光 (副委員長) | 須子 藤吉朗 |
| 氏永 芳雄     | 須子 藤吉朗 |
| 石田 英之     | 須子 藤吉朗 |
| 宮川 幹男     | 須子 藤吉朗 |
| 兼村 秀和     | 須子 藤吉朗 |
| 重見 正之     |        |
| 澤田 正之     |        |

**新山口駅  
ターミナルパーク整備**

執行部から、議案第1号平成22年度山口市一般会計補正予算(第5号)のうち、JR新山口駅の南北自由通路等の整備に伴い平成23年度から平成28年度までの期間、95億円を限度とする債務を負担することについての議案説明がありました。委員から、95億円の内訳について質問がありました。執行部から、自由通路、橋上駅舎の建設費のほか、在来線駅舎機能の移転に伴う機能回復等に係る費用も含まれるとの答弁がありま

した。

さらに委員から、概算で最大限95億円が必要になるということだが、これから具体的な工事等を進めていく中で95億円の縮減に向けて精査して欲しいとの意見がありました。

### 指定管理者の指定

議案第65号は山口勤労者総合福祉センター（サンフレッシュ山口）の指定管理者の指定に関する議案です。



山口勤労者総合福祉センター  
(サンフレッシュ山口)

委員から、この施設の指定管理者候補の本社は県外に所在しているが、選定に当たって、地域性についてはどのように考えたのか、また、この候補者が他にどのような事業を展開しているのか質問がありました。執行部から、本社は県外だが、支店が本市に所在し

ている。指定管理者の指定の手続き等に関する条例及びガイドラインに基づき資格要件があると判断をした。

また、この候補者は、県外でも指定管理者として公の施設を管理されており、ビル清掃事業等もされている。本市においては、現在、山口南総合センターの指定管理者でもあるとの答弁がありました。

### 環太平洋戦略的 経済連携協定(TPP)

委員から、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加に対しての見解について質問がありました。

執行部から、本市のような第一次産業を機軸とする地方都市というのは、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への参加では、おそらく衰退の一途をたどるのであるという認識であるとの答弁がありました。

なお、「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加への慎重な対応を求める意見書」を委員会提出議案として提出することについて審査し、全会一致で提出することとしました。

また、経済建設委員会に付託された19件の議案は、すべて全会一致で可決しました。

一般・特別会計決算審査特別委員会			
原 真也 (委員長)	清 亘	義 隆	次 好
俵田 祐児 (副委員長)	原田 敦	齊藤 功	菊地 上田
坂井 芳浩	原 敦	其原 裕樹	小田村 克彦
有田 泉	山本 功		

本委員会は、10月臨時会に上程された平成21年度決算認定に係る15件の議案を審査するために設置されました。

平成21年度の決算は、合併による阿東町の打ち切り決算後、残予算を引き継ぎ、山口市の予算と統合して執行されたものでした。決算書とともに、主要な施策の成果報告書を中心に各部署から会計ごとに説明がされ、それに対して、委員から活発な質疑が行われました。特に、事業の予算がどのように執行され、目標値として設定された成果指標に対してどのような成果があり、評価を行い、また次年度以降の予算にどのように反映させるのかなど、様々な角度から熱心な議論が交わされました。

委員会が開会する前に委員から決算附属資料についての不備が指摘されました。委員会において、執行部と協議を行い、その取り扱いについて調整を行ったため、10月20日は、いったん委員会を開会したもののただちに散会し、審査に入ることができませんでした。その後、執行部との調整が整い、審査は10月21日、22日及び25日の3日間で行いました。



熱心な議論が交わされた  
決算審査特別委員会

審査終了後、12月定例会の初日に委員長が審査結果とともに委員会として整理した意見について、次のとおり報告しました。

○不用額の多い部局が見受けられたことから、施策別包括的予算制度の趣旨を踏まえ、予算編成の段階から、マネジメントサイクルを円

滑に機能させ、各事業について十分な精査を行い、より正確な予算編成を行うとともに、計画的な予算の執行に努められ、不用額の発生が見込まれる場合には、年度途中での適切な予算整理に努められたい。

○昨今の厳しい経済状況の下、市税については、市税等コールセンターによる新規滞納者の発生抑制やコンビニ収納による納税の利便性の向上などに努められているところであるが、市民の税負担の公平性の確保や健全な財政運営の観点から、引き続き収納率のより一層の向上に努められたい。

○決算附属資料の一部訂正及び資料の差し替えの不備が見受けられたところであるが、今後、決算附属資料の作成に当たっては、行政内部のチェック体制をさらに強化され、内容の確認を十分にされたい。

なお、本委員会に付託された15件の議案については、議案第1号から第3号まで及び議案第5号は賛成多数で、その他の議案については、全会一致で認定しました。

# 会派等活動報告

## 県史創造グループ山口維新会

小林 訓二(代表)  
浅原 利夫・氏永 東光  
坂井 芳浩・徳田 祐児  
野村 幹男・原田 清  
藤本 義弘・宮川 英之

## ◇12月定例会の報告◇

本議会初日に一般・特別会計決算審査特別委員会から審査結果及び指摘事項等の報告を受け、15会計すべての決算を認定しました。

また、一般質問においては平成23年度予算編成方針や新山口駅ターミナルパーク整備事業等について市長の考えをただし、各常任委員会では所管する部局に対して喫緊の課題や将来展望等について様々な視点から多岐にわたる議論を積極的に展開しました。

これらを通して、今年度を「広域県央中核都市づくりへ 展開・勇躍する年」と位置づけ、1市4町、さらには阿東町との合併を踏まえた「新しい山口市のまちづくり」の基礎固めとして、これまで培ってきた「計画」が着実に「実行」に移され

てきていると確認したところです。

## ◇議案等に関する賛否と討論◇

上程されました議案については、すべての議案に賛成しました。また、請願3件については不採択とさせていただきます。討論に参加しました。

その中から、議案第1号「一般会計補正予算」について討論要旨を述べます。この議案は、生活保護扶助費、就学援助費など昨今の社会経済情勢を背景として、経済的な支援が必要な方々が増加したこと、また子宮頸がん、ヒブワクチンなど予防接種に係る国の一次補正に対応したものです。

市民の安心、安全な暮らしを支える上で、いずれも緊急かつ重要なものであり、特に新たに対象となつた予防接種事業の実施に当たっては、市民の皆様に分な周知を図つた上で、取り組むよう要望しました。また、同議案には「新山

口駅南北自由通路等整備事業」に係る債務負担行為も含まれています。

本事業は山口県全体の玄関口として、また次の段階にある新山口駅北地区重点エリアの整備とともに、広域県央中核都市創造のための成長エンジンとして大きな期待をしています。

このような思いの中で、アクセス道路の整備等に関する山口県としての対応について、その方向性が中々見えてこないことに若干のもどかしさを感じることもから、引き続き積極的な働きかけを行うよう強く求めました。

請願3件の不採択理由は、受理番号1では従来の老人保健制度に戻すことには賛成しかねること、また受理番号2、3では一貫して「消費税に頼らず」と主張しておられ、財源を議論する場合適切な判断とは言えないこととしました。

## 新国会

伊藤 斉(代表)  
有田 敦・伊藤 青波・斉藤 巨  
原田 欣知・右田 芳雄

12月定例会に提案された全議案に賛成しました。

補正予算案に関しては、先般の臨時議会で可決した条例、人事院勧告に従い、公務員給与の減額を行うことをはじめ、景気の回復基調の兆しが見えない社会状況を反映し、生活保護費の不足を見込み補正が行われるなど、また同じく経済状況の悪化を要因とし、小・中学校の就学援助費の不足分の補正が行われるものなど、昨今の景気の動向が非常に心配されるものであります。

議案第65号山口勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定については、今回から指定管理者が変わることが提案されました。

指定予定社は松江市に本社を構える企業であり、すでに山口市南総合センターの指定管理を行っていています。経費の削減・サービスの向上といった観点から、地元企業にも理解をいただき県外業者の指定も認めてきましたが、本件でこの企業が指定を受けるのは2件目となります。一つの企業が複数の指定管理を行うことが適当かどうか、他に応募が無ければともかく、地

縁による協働のまちづくりを進める本市においては非常に危険な状況にあると認識するものとなりました。

会派といたしましては賛否両論あるものの、今後の制度の運用について見直す良い機会が出来たものと考え、今回は、賛成いたしました。

指定管理者制度については、いたずらに制度の導入を図るだけでなく、地域性、合理性、経済性など多角的・多面的に施設のあり方を検討され、地縁による協働のまちづくりに寄与するものとなるよう要望しました。(討論から抜粋)

## 県史創造グループ山口清風会

田中 勇(代表)  
泉 裕樹・兼村 幹男・藏成 幹也  
原 真也・平田 悟

## 12月定例会の報告

山口清風会は、12月議会に上程された、議案第1号から第78号まで、すべての議案に賛成しました。また、請願についてはいずれも不採択といたしました。

本定例会において、新山口駅ターミナルパーク整備事業、山口版グリーン・ニューディール、中山間地域対策など様々な事業につい

て、活発な議論を交わしました。

### 議案に対するの討論

過疎地域自立促進計画については、過疎地域の振興は極めて重要な問題であり、生まれ育った地域で安全、安心に暮らし続けることのできる地域社会の実現に向けた取り組みは、高く評価しますが、緊急性の高い事業、効果の期待できる事業を優先し、社会経済情勢の変化に対応するために、その進捗状況に応じた計画の見直しの必要性を指摘しました。

市の公共施設の指定管理者を指定する議案が47件提出されました。指定管理者制度は、地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理運営を、株式会社や財団法人・NPO法人・市民団体などに包括的に代行させることができる制度で、導入の目的は施設運営面でサービス向上や管理運営経費の削減です。行政目的の達成と市民サービスの向上という視点から、さらなる努力を執行部と指定管理者が力を合わせて取り組むよう期待し、そ

の評価方法や公表のあり方などさらに研究を進めるよう求めました。

請願については、いずれも社会保障制度全般のなかで検討すべきもので、現在国において検討中であることから不採択としました。

### 公明党

佐田 誠二(代表)  
其原 善信・原 ひろ子  
村上 満典

### 「赤ちゃんの駅」が開設

乳幼児を連れなお母さんたちが、外出先で母乳をあげたり、おむつ換えなどで気兼ねなく立ち寄れるスペースとして「赤ちゃんの駅」が、市内の21カ所の事業所に設置され、12月1日からスタートしました。

同施設は一昨年の12月議会から会派として提案し、実現したものです。

### ワクチン公費助成も実現

12月議会で可決された補



市内のデパートに設置された「赤ちゃんの駅」

正予算では「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特別給付金」として子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3種類のワクチンの公費助成が実現し、本年度中の実施が決まりました。

これからも女性や子どもに優しい政策、市民の安心安全を推進する政策の実現を目指してまいります。

### 山口未来クラブ

重見 秀和(代表)  
入江 幸江・山本 功

山口未来クラブでは、山口市中心商店街で11月3日～7日「オラ！スペインフェスタ」、12月23日「クリスマスナイトフェスティバル」、12月1日～25日「日本のクリスマスは山口から」など地域や商店街に関わる各種イベントにそれぞれが違った形で参加いたしました。スペインナバラ州パンブローナ市と姉妹都市締結三十周年の記念すべき年。さらには、大内氏開府六百五十年と重なったこと、大内氏とサビエルの絆をまちの誇りとして、また、まちの価値として、観光資源として継続すべき事業の

一つであると考え、さらなる展開を応援したいと思っております。

これからも市民の皆様との対話と情報交換、公開で活動してまいります。

### 日本共産党

菊地 隆次(代表)  
河谷 喜代

12月24日、渡辺純忠市長に対し、新年度予算編成にあたっての予算要望書を提出しました。要望書は、①中核都市づくりを転換し、くらし最優先の市政、②くらし、福祉、教育の充実、③住民の声が生きる自主的なまちづくり、④地域経済の活性化と産業の振興の四分野56項目にわたり、住民の切実な要求の実現を求めています。国や県の動向や問題点、農業振興、公共交通、災害対策等についても意見交換しました。

### 市民クラブ

須子藤吉朗(代表)  
小田村克彦

当会派では例年、市民の皆様が生き生きと、安心・安全な暮らしができるまちづくりを目指して、連合山

口地域協議会が行ったアンケート調査をもとに作成した「政策・制度要請書」を協議会役員と共に市長に提出し、雇用の創出、産科・小児科医療の充実、小・中学校の耐震化整備、公共交通の整備や効率の良い行政サービスの確保など、新年度予算や今後の施策に反映できるよう、意見交換並びに要請を行いました。

### 民政クラブ

澤田 正之(代表)  
上田 好寿

水道料金は平成17年の合併時に当分の間、現行どおりとすることとされていましたが、時期も来ており、現在の山口市全体を捉え、民政クラブでは料金の一本化を話し合ってきました。水道使用者間の負担の公平さや一体感の醸成の観点から、このたび、執行部案である山口・秋穂の料金に統一することが望ましいという結論を得ましたので、平成23年10月1日の検針からの新しい水道料金適用に賛成することになりました。

